

会社の概要

- 会社概況 (平成29年9月30日現在)

新京成電鉄株式会社

設立 昭和21年10月23日
本社 〒273-0192
千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
電話 047-389-1111【総務人事部】
http://www.shinkeisei.co.jp/

主な事業内容 鉄道による一般運輸業
土地建物の売買、賃貸業

- 株式の状況 (平成29年9月30日現在)

資本金 5,935,940,378円
発行可能株式総数 120,000,000株
発行済株式の総数 55,116,142株
株主数 3,460名

- 役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役会長	笠井 孝悦
代表取締役社長	眞下 幸人
常務取締役	小川 勉
常務取締役	村瀬 孝司
常務取締役	田口 和己
取締役	長見 真治
取締役	吉川 邦彦
取締役	河合 義一
取締役(社外)	花田 力
取締役(社外)	三枝 紀生
取締役(社外)	中戸川 健一
取締役(社外)	阿部 忠
常勤監査役	柳田 信夫
常勤監査役(社外)	山門 浩一
監査役(社外)	加藤 雅哉
監査役	金子 光

携帯ホームページへ
簡単アクセス



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町一丁目1番 ☎0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品 取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード9014)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shinkeisei.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

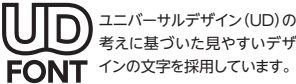
お知らせ

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。
なお、配当金を証券口座でお受け取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。



株主・投資家の皆様へ

Shin-Keisei Report

第100期 第2四半期

平成29年4月1日～平成29年9月30日



Contents

- 株主の皆様へ 1
- 財務ハイライト 1
- 事業の概況 3
- TOPICS 5
- 連結財務諸表 8
- インフォメーション 9
- 会社の概要／株主メモ 裏表紙



純利益(4月～9月)は15億6千万円を計上



代表取締役社長 眞下 幸人

株主の皆様におかれましては、日頃より、新京成電鉄グループに対しましてご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第100期第2四半期連結累計期間(平成29年4月～9月)の事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場変動の影響で先行きは不透明な状況でありましたものの、雇用環境や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化及び業務の効率化に努めました。

その結果、全事業営業収益は109億2,887万円、前年同期比0.0%(405万円)の減収となりましたものの、全事業営業利益は22億544万円、前年同期比6.9%(1億4,284万円)の増益、経常利益は前年同期比5.5%増の22億6,710万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4.8%増の15億6,288万円となりました。

中間配当金につきましては、去る10月30日開催の取締役会におきまして、1株につき3円と決定させていただきましたので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、中長期的には沿線の少子高齢化が一段とすすみ、厳しい状況が予想されます。

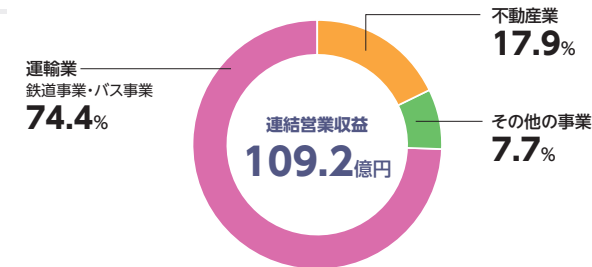
このような状況に対応していくため、当社グループでは、「安全管理体制の再構築」「鉄道輸送需要の創出及び不動産の新たな収益源確保」「業務効率化施策の実施」の3つを基本方針とする、中期経営計画「S3計画」(平成28年度から平成30年度)を着実に実行し、沿線地域と企業のブランド力向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

財務ハイライト

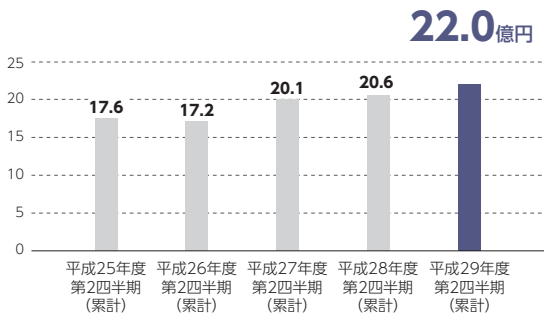
セグメント別営業収益構成比(平成29年度第2四半期累計)



*構成比率は、外部顧客に対する売上高に基づき算出しています。

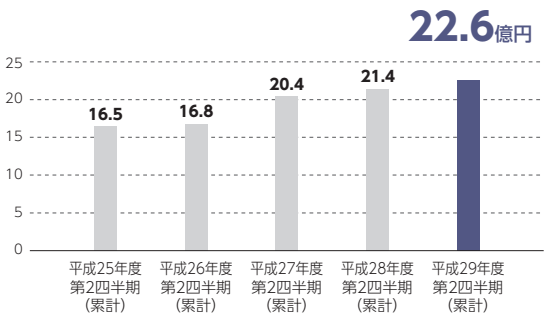
連結営業利益の推移

(億円)



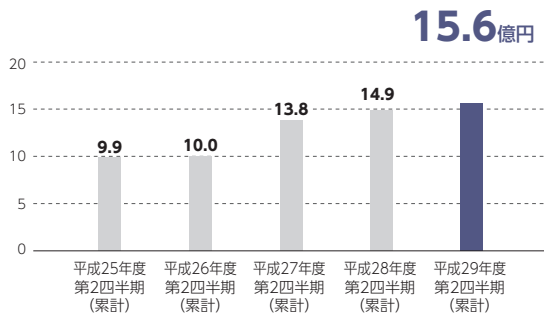
連結経常利益の推移

(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

(億円)



事業の概況



運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATS工事や車両基地への信号保安設備導入工事をすすめました。諸施設のバリアフリー化につきましては、八柱駅北口にエレベーターを設置いたしました。このほかお客さまサービス向上策として、駅トイレの洋式化工事を実施いたしました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指して工事をすすめております。なお、平成29年10月21日に下り線高架切替えを実施し運行を開始いたしました。

営業面につきましては、ふなっしーとのコラボレーション企画を実施いたしましたほか、沿線健康ハイキングや果物狩り、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばしのラッピング電車の運行、行楽施設の売り券や企画乗車券の販売などを継続的に実施し、旅客誘致と増収対策に努めました。

バス事業では、一般乗合輸送において、松戸市のコミュニティバスの実証実験運行を12月から開始することに伴い小型ノンステップバスを3両新造したほか、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を4両実施いたしました。船橋新京成バス株式会社では、ふなばしアンデルセン公園や船橋市運動公園プールへの輸送力向上を目的としたダイヤ改正を実施いたしました。松戸新京成バス株式会社では、広告業者とタイアップしたベンチを8停留所に設置し、お客さまサービスの向上に努めました。

以上の結果、営業収益は81億4,120万円、前年同期比0.6%(4,707万円)の増収となり、営業利益は10億8,656万円、前年同期比4.2%(4,382万円)の増益となりました。



八柱駅北口エレベーター



小型ノンステップバス



不動産業

不動産分譲業では、「新京成タウン八千代緑が丘」の宅地分譲を引き続き行い、12区画を販売いたしましたほか、八千代市の土地を売却いたしました。

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持に努めました。また、新たな収益源確保の取り組みとして、習志野市津田沼一丁目の複合賃貸ビルを取得いたしました。

以上の結果、営業収益は20億98万円、前年同期比8.3%(1億5,362万円)の増収となり、営業利益は10億5,706万円、前年同期比11.1%(1億582万円)の増益となりました。



津田沼一丁目の複合賃貸ビル



その他の事業

コンビニ業では、7月に鎌ヶ谷大仏駅に出店し、現在8駅で10店舗を営業いたしております。また、一部の店舗では営業時間を見直し、更なる利便性と収益力の向上を図りました。このほか、昨年度から設置を始めました「オープン型宅配便ロッカー」を、本年度はくぬぎ山駅と高根公団駅に設置しサービスを開始いたしました。

以上の結果、前期の連結子会社の決算期変更の影響もあり、営業収益は8億7,671万円、前年同期比19.0%(2億499万円)の減収となり、営業利益は4,736万円、前年同期比11.3%(603万円)の減益となりました。



セブンイレブン新京成ST鎌ヶ谷大仏店

新京成電鉄株式会社 70年の歩み

連載第3回

昭和60年代～平成10年代

鉄道事業

車両、設備の近代化をすすめていきました。車両面では、昭和61年に長編成では世界初の1500V電車専用VVVFインバータ制御車である8800形が登場し、省エネルギー化や高い信頼性を実現しました。また平成5年にはオールステンレス車両の8900形が登場し、併せて既存車両の改造もすすめ、全車冷房化を達成しました。設備面では、昭和62年に初めて自動改札機を導入するなど、順次整備をすすめました。輸送人員は昭和62年度に年間1億人を突破しましたが、北総線の全線開業や東葉高速線の開業により減少傾向となりました。そのような環境下で、平成8年には最高時速を85キロメートルへと向上し、平成18年には京成千葉線への乗り入れを開始するなど、輸送サービスの向上を図りました。

昭和60年代から平成10年代までは、輸送力の更なる増強と、輸送サービスの向上を目指す一方、沿線開発は円熟期に入り、新たな環境への転換点となった時代でした。

平成
5年



8900形登場 ぐぬぎ山車両基地

平成
18年



京成千葉線へ乗り入れ開始 千葉中央駅

バス事業

昭和60年より車両の更新、増備を急ピッチですすめ、平成2年には全車両冷房化を達成しました。また、平成3年には全路線をワンマン化しました。このほか、平成10年にはノンステップバスを導入、そして平成12年には一般貸切事業に参入するなど、サービスの向上を図りました。その一方で輸送人員は平成3年度をピークに減少を続け、更に平成8年の東葉高速線開業の影響を大きく受け、バス事業を取り巻く環境は厳しいものとなっていきました。そのような環境下で、よりきめ細かく輸送サービスを提供するため、平成15年にバス事業を分社して新たな体制での営業をスタートしました。

不動産事業

昭和60年代以降も駅ビルの建設を積極的にすすめ、上本郷駅、八柱駅、五香駅、鎌ヶ谷大仏駅、二和向台駅、薬園台駅などに駅ビルを建設したほか、佐倉市や八千代市などにも賃貸施設やビルを建設しました。不動産事業が順調に成長したことは、当社の経営安定化に大きく寄与することとなりました。

平成
7年



赤い塗装の車両 松戸営業所

平成
12年



一般貸切事業に参入

昭和
60年



八柱駅第1ビル オープン

平成
12年



薬園台駅ビル オープン



連続立体交差事業

本事業は鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間の約3.3kmを連続的に高架化するもので、平成29年10月21日に津田沼方面行きの下り線を高架に切替え運行を開始いたしました。今後は松戸方面行きの上り線を平成31年度中に切替えるため、鋭意工事をすすめてまいります。



ふなっしーとのコラボレーション企画

当社の開業70周年と、ふなっしーの地上降臨5周年を記念して、コラボレーション企画を実施いたしました。



ホームページのインバウンド対応

当社のホームページには英語版のページがあり、本年春からは訪日外国人向けに英語、中国語(簡体、繁体)、韓国語、タイ語の5言語に対応した沿線情報ブログを開設いたしました。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

科 目	第100期第2四半期 (平成29年9月30日現在)	第99期 (平成29年3月31日現在)
	千円	千円
(資産の部)		
流動資産	10,059,764	10,686,954
固定資産	77,945,109	74,765,450
有形固定資産	68,209,654	65,988,778
無形固定資産	562,781	587,320
投資その他の資産	9,172,673	8,189,351
資産合計	88,004,873	85,452,405
(負債の部)		
流動負債	36,586,186	35,775,032
固定負債	12,583,886	12,926,582
負債合計	49,170,073	48,701,615
(純資産の部)		
株主資本	35,025,267	33,655,605
その他の包括利益累計額	3,809,533	3,095,184
純資産合計	38,834,800	36,750,790
負債純資産合計	88,004,873	85,452,405

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 66,325,417千円
3. 1株当たり純資産額 707円46銭

四半期連結損益計算書

科 目	第100期第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	第99期第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
	千円	千円
営業収益	10,928,872	10,932,927
営業費	8,723,427	8,870,324
営業利益	2,205,444	2,062,603
営業外収益	135,425	169,761
営業外費用	73,765	82,955
経常利益	2,267,104	2,149,409
特別利益	63,366	43,923
特別損失	63,099	42,209
税金等調整前四半期純利益	2,267,371	2,151,124
法人税、住民税及び事業税	725,819	644,620
法人税等調整額	△21,335	15,878
四半期純利益	1,562,888	1,490,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,562,888	1,490,625

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり四半期純利益 28円47銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科 目	第100期第2四半期 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	第99期第2四半期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,501,751	2,614,130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,786,766	△1,690,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	△839,902	△554,745
現金及び現金同等物の増減額	△124,917	369,309
現金及び現金同等物の期首残高	5,962,337	4,517,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,837,419	4,886,771

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

インフォメーション

単元株式数の変更及び株式併合に関するご案内

当社は平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、当社普通株式5株を1株に併合いたしました。

なお、この単元株式数の変更及び株式併合に伴う株主様のお手続きは特段ございません。

1 株式併合による影響

株主様の株式併合後のご所有株式数は、株式併合前の5分の1となりますが、逆に1株当たりの純資産額は、株式併合前の5倍となり、株式市況の変動等ほかの要因を別にすれば、株主様がご所有の当社株式の資産価値が変わることはありません。

【具体例】

	株式併合前	株式併合後	備考
ご所有株式数	1,000株	200株	5分の1
株価	400円	2,000円	5倍
資産価値	400,000円	400,000円	変化なし

2 1株未満の端数が生じる場合の処分代金のお支払い

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、当社が一括して処分し、その代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて金銭にてお支払いいたします。

なお、端数株式処分代金のお支払いは、平成29年12月を予定しております。

3 主なスケジュール

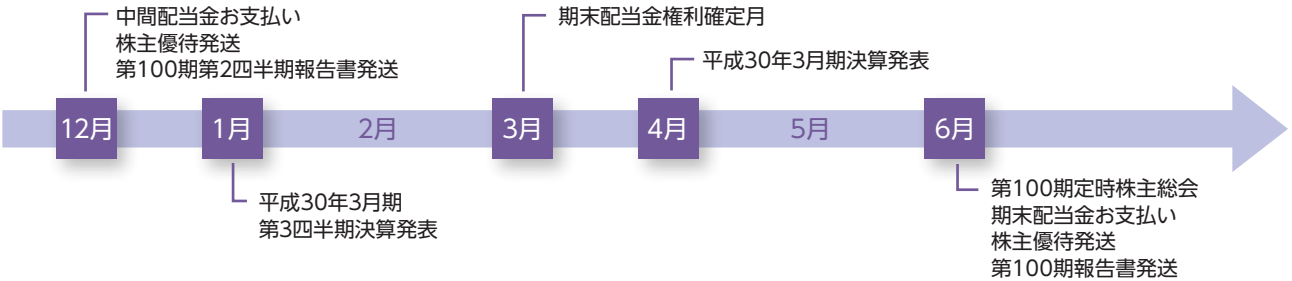
平成29年9月27日 100株単位での売買開始日
平成29年10月1日 単元株式数の変更及び株式併合の効力発生日
平成29年10月下旬 株主様へ株式割当通知発送

お問い合わせ先

単元株式数の変更及び株式併合に関しご不明な点は、お取引のある証券会社または株主名簿管理人までお問い合わせください。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
0120-232-711 (通話料無料)

IRカレンダー



株主優待制度のご案内

株主優待乗車証

ご所有株式数	優待乗車証の種類	有効区間	発行枚数
100株以上200株未満	回数券式(1枚1乗車有効)	電車全線	2枚
200株以上1,000株未満	//	//	5枚
1,000株以上2,000株未満	//	//	15枚
2,000株以上3,000株未満	//	//	30枚
3,000株以上4,200株未満	//	//	45枚
4,200株以上7,800株未満	定期券式	//	1枚
7,800株以上	//	電車全線 当社グループのバス全線*	1枚

※深夜急行バス・コミュニティバス等のご利用いただけません。深夜バスをご利用の際は割増分運賃をお支払いいただきます。

発行基準日、発行日及び有効期間

対 象	発送時期	有効期間
3月31日現在の株主様	6月中旬	7月1日から12月31日
9月30日現在の株主様	12月中旬	1月1日から6月30日

平成30年3月31日の基準日に株主名簿に記載または記録された株主様への優待より適用いたします。

単元未満株式(1～99株)をご所有の株主様へ

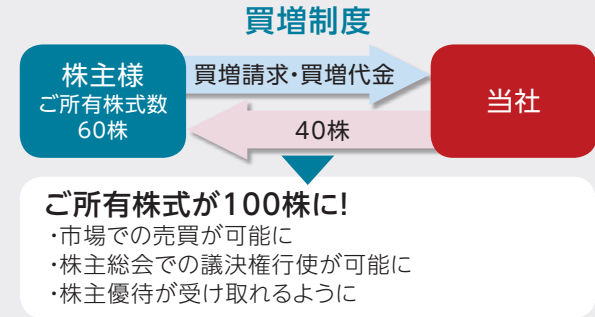
当社株式は、証券市場での売買、株主総会における議決権行使の権利及び株主優待を受け取る権利が**100株単位**となっております。

当社では単元未満株式をご所有の株主様に対し、単元未満株式を単元株式(100株)までお買い求めいただける「単元未満株式買増制度」を採用しておりますので、ぜひご検討ください。

また、単元未満株式を売却できる「単元未満株式買取制度」もございますので、併せてご検討ください。

この制度をご利用になる場合は、原則お取引の証券会社にお問い合わせください。特別口座に登録された単元未満株式については、下記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

特別口座に登録されている株主様のお問い合わせ先
三菱UFJ信託銀行 本支店 または三菱UFJ信託銀行 証券代行部



☎0120-232-711 (通話料無料)